

景は、1800年代前半の経済状況がある。第2次石油危機からの脱却が日米より遅れて失業率が高止まりし、第2次大戦後の手厚い社会福祉や労使協調にもとづく社会モデルも行き詰まり、米ソ対立を前に無力感を味わっていた。三重苦の状態を欧州の内部でどう纏めるといふ政治の問題が大きかった。経済面でも資本移動の自由化のとお活況台への圧力が高まっていたが、89年のベルリンの壁崩壊が荷手を押しした。「ドローレC.E.C委員長は加盟国の間にある程度存在した市場